

農水産業版「市長とドンドン語ろう！」意見交換内容

令和5年2月8日・場所 アークホテル熊本城前・参加者13名

No.	意見/要望	ご意見	回答	局	担当課
1	新規就農の支援について	<p>○近年の資材高騰の影響により、なすの安定生産に欠かせない「耐候性ハウス」の建設には多額の費用を要する。</p> <p>○現在の国の新規就農支援制度は、支援額が小さく、要件も厳しい。特に親元就農からの経営継承時に求められる新規作目の導入等の要件は緩和してほしい。</p> <p>○新規就農時に利用できる低金利の融資制度も十分でないと思う。</p> <p>○作付面積日本一のなす産地を維持するためにも、就農の際に手厚い支援や市独自の支援をお願いしたい。</p>	<p>〔市長〕 ○後継者不足は深刻な問題であると認識している。農業の現状が厳しい中、後継者が親の経営を引き継いで生産を拡大し、品質を向上させていけるような環境を整えていくことは、とても重要である。</p> <p>○経営する上で有利な資金があることは大事で、新規就農者への支援については、これからも現場のご意見を聞きながら取り組んでいきたい。</p> <p>〔農水局長〕 ○耐候性ハウスについては、国の補助事業で導入を支援しているが、部材やハウス内の装置等の価格が高くなっており、生産者にとって厳しい状況である。</p> <p>○親元就農の場合、現行の支援制度には乗りにくい。要件の緩和には、親元就農する上での経費やリスクについてもっと訴えていく必要がある。</p> <p>○新規就農の際に利用できる融資制度の内容については確認する。</p>	農水局	農業支援課
		<p>○親元就農する新規就農者については、親の技術を学んだ上で、自分なりの品目や作型を選択し、経営を発展させていく流れが良いと思う。</p>	<p>〔農業支援課 追記〕 ○自ら起業し、認定新規就農者となる場合は、青年等就農資金（無利子）や経営体育成強化支援資金（利率1.00%※）の対象となる。 親元で就農（共同経営）し、認定農業者となる場合は、農業近代化資金（利率0.55～0.85%※）やスーパーL資金（利率0.55～1.00%※）の対象となる。 ※利率は令和5年3月末時点</p> <p>○親元での新規就農者への支援の拡充及び経営発展支援事業の補助上限額の引き上げについて、国へ要望を行う。</p>		
2	有害鳥獣対策について	<p>○猟友会では捕獲した有害鳥獣の処理や処分に苦慮している。他県で、民間企業がイノシシ等の加工処理施設を整備し、効果が上がっている事例がある。企業参入の手法も含めて検討し、県北に加工処理施設を整備してほしい。</p> <p>○鳥獣の増加を抑えるためには、遊休農地の発生を防止することが重要である。国が食料安全保障の取組を強化している背景もあり、遊休農地に小麦の作付が進んでいくような国の交付金等の制度を期待する。</p>	<p>〔市長〕 ○有害鳥獣の処理については、いろいろと仕掛けていかないと難しい。ビジネスとして成立させることができれば、非常にいい話だと思う。他業種とも連携して解決していけるよう知恵を出していきたい。</p> <p>○遊休農地に効率よく戦略的な作物を作付し、生産を上げていくことは重要な課題であり、現場から声を上げていくことが大事と考えている。</p>	農水局	<p>農業支援課</p> <p>農業支援課 (鳥獣対策室)</p>

農水産業版「市長とドンドン語ろう！」意見交換内容

令和5年2月8日・場所 アークホテル熊本城前・参加者13名

No.	意見/要望	ご意見	回答	局	担当課
3	農業と他業種との連携について	○農業と他業種の交流機会の創出には行政の支援が重要である。小規模でも良いので、農業と他業種の交流の場を提供してもらいたい。	<p>〔市長〕 ○農業との連携に関心をもっている企業は多いという印象で、農業と他業種との連携は非常に大事である。</p> <p>○熊本駅前の新都心プラザに「クロスポイント（XOSS POINT.）」という施設を設置しており、そのような場を活用して農業者とスタートアップ企業やベンチャー企業とが対話することで新たな提案や取組が生まれることを期待する。</p> <p>○経済部門の部署にも話をして、農業分野と他産業との交流の場を検討していきたい。</p> <p>〔農水ブランド戦略室 追記〕 ○販路拡大事業や各種イベントを通じて、食品、卸売、商社、ECサイト運営などの他業種の企業とのつながりも有していることから、相談内容に応じ、先方の意向を確認した上で紹介可能。</p>	農水局	農業政策課 （農水ブランド戦略室）

農水産業版「市長とドンドン語ろう！」意見交換内容

令和5年2月8日・場所 アークホテル熊本城前・参加者13名

No.	意見/要望	ご意見	回答	局	担当課
4	農業や農産物のPR・販路拡大等について	○生産資材の高騰等の影響を受け、利益が出にくい経営環境になっている。農産物のPRや販路拡大に取り組む際には、そのような厳しい状況下で生産者が頑張っていることに触れてもらいたい。	〔市長〕 ○農産物のPRや販路拡大に加え、ブランド化によって農産物の価値を引き上げ、生産コストが反映された適正な価格で取引されていくことが必要である。 ○代々受け継がれてきたノウハウをもつ農業者は、農業の「老舗」である。長年にわたり培われてきた技術や経営を未来に残していくためにも、他の産業のように農産物に「老舗」の付加価値を与えるような取組も必要と感じている。	農水局	農業政策課 農業政策課（農水ブランド戦略室）
		○資材の高騰等に伴い生産コストが増加しているが、販売価格に転嫁できていない状況。 ○農産物が適正な価格で販売され、ひいては農業が維持されていくためには、消費者の理解が欠かせない。農産物自体のPRだけでなく、背景にある農業のことや、農業者が安全・安心な農産物づくりに一所懸命に取り組んでいる姿などを情報発信し、農業に対する消費者の理解を深めてほしい。	〔市長〕 ○安全・安心のために手間をかけて取り組む農業者の姿を発信することは、農業の尊さや農産物の価値をアピールすることにつながる。 ○広報と連携しながら、長期間かけて職員等が現場で農業者取材して動画を作成し、発信していくのも良いかもしれない。 ○動画を通じて農業者の頑張りが伝わると、「簡単ではなく大変そうだけど、就農したい」という人も出てくると思う。		
		○熊本出身の有名な映画監督や俳優などに呼びかけて、農業をテーマにした映像を制作してもらうのもおもしろいのではないか。	〔市長〕 ○熊本にゆかりがあり、発信力の高い方々とも連携し、農業の価値を上げていく上で追い風になるような取組についても意識していきたい。		
5	農業収入保険について	○収入保険に加入しておけば、自然災害等で前年度より収入が低下した場合に補償を受けられるが、保険料が高く、負担が重い。保険料の補助をしている県内市町村もあるようなので、ぜひ熊本市でもお願いしたい。	〔市長〕 ○収入保険には、多くの方に加入してもらうのが望ましい。補助を実施している市町村の状況等を把握しながら、本市として取り組めることを検討したい。 〔農水局長〕 ○収入保険は基本のタイプだけでなく、補償内容と保険料を抑えたタイプもあり、経営方針に応じた選択ができる。	農水局	農業支援課

農水産業版「市長とドンドン語ろう！」意見交換内容

令和5年2月8日・場所 アークホテル熊本城前・参加者13名

No.	意見/要望	ご意見	回答	局	担当課
6	海外販路について	○海外販路開拓の取組を進めてもらいたい。海外販路を視野に入れ、GAP（農業生産工程管理）の認証を受けているが、維持していくにも費用がかかり、メリットを見いだせていない状況である。	〔市長〕 ○GAP認証のメリットを引き出していくためにも、引き続き海外販路の開拓に取り組んでいく。	農水局	農業政策課 （農水ブランド戦略室）